

ふる里 5・6月号
はまわき

第396号 令和8年5月1日発行

発行・編集

浜脇コミュニティ委員会

浜脇の風景



西宮神社表大門（赤門）から東へ100mほど行った所にある「コミュニティーガーデンin本町」は、四季折々、色とりどりの花が咲く美しいガーデンです。

6月ごろに咲くアナベル（アジサイの仲間）は、まりのような大きな球形の花を咲かせ、緑→白→緑と色の変化も楽しめます。
昨年6月中旬撮影

◇祈り、安らぎ、永遠、そしてあなたらしさ…。心を大切にしたいお墓作りを考えています◇

有限会社 中原石材工業所 代表取締役 谷本 俊和

事務所・工場 西宮市名次町12-27（満池谷墓地正面西約200m）

TEL 0798-73-5334 FAX 0798-70-5200

はまわきびと 29

チアダンスの世界大会で

優勝!

浜脇中学校

3年 植田 果歩さん

百合学院高等学校

1年 出田詩桜里さん



出田さん(左)と植田さん

毎年、「浜脇まつり」に出場しているDTD CHEERDANCE TEAMが、昨年5月にアメリカのフロリダ州オーランドで行われた「The Dance Summit 2025」に出場し、見事優勝しました。チームに所属している出田さんと植田さんは昨年、浜脇中学校在学中に世界大会に出場しました。

出田さんは、友達がチアダンスをしている姿を見て「楽しそう!」と思い、小学2年

生からチアダンスを習い始めました。植田さんは、いところが出場していたチアダンスの大会でチアダンスを初めて観戦。さらに、映画『チア☆ダン』を観て、自身もあのステージで踊りたいと強く思うようになり、その夢をかなえるため、小学校3年生の時にチームに入りました。



昨年の浜脇まつりでダンスを披露したDTD CHEERDANCE TEAM



優勝が決まったこの瞬間、努力してきた良かったと心から思いました!

出田さんと植田さんにインタビューしました

◎世界大会に出場すると決まった時、どんな気持ちでしたか?

夢がかなうという大きな喜びで、胸がいっぱいになりました。その一方で、本当に世界の舞台で通用するのだろうかという不安もあり、うれしさと緊張が入り交じった忘れられない瞬間でした。

◎世界大会に向けた練習で、一番大変だったことは何ですか?

今回の演技は、ポム(チア)とヒップホップを融合させた「バラエティ部門」で出場しました。全員が初めてのヒップホップに苦戦しましたが、その分表現の幅が広がり、チームとして大きく成長できました。

◎それをどうやって乗り越えましたか?

ヒップホップを克服するた

め、得意なメンバーに積極的に教えてもらいました。特にアイソレーションに苦戦しましたが、オンラインでも練習を重ねることで体の使い方をつかみ、自信につながることができました。

◎世界大会の会場や雰囲気、特に印象に残っていることは何ですか?

日本の大会とは違い、会場にはさまざまな国の観客が集まり、国境を越えて応援してくれる温かい雰囲気がありました。出場する全てのチームに大きな声援が送られ、会場全体が一体となって盛り上がっていました。その中で演技ができたことはとても幸せで、世界大会ならではのスケールの大きさと温かさを感じました。

◎本番の演技を終えた瞬間、どんな思いがありましたか?

日本でもたくさんさんの大会に出場してきましたが、本番の舞台には、これまで感じたことのない世界が広がっていました。この素晴らしい場所に立てたことへの感謝の気持ちで、胸がいっぱいになりました。正直、しんどいことの方



アメリカの会場ではチーム一体となり、応援してくれるみんなへ感謝の気持ちを込めて踊りました!

が多かったですが、「ここま
でやってきて良かった」と心
から思えた瞬間でした。

◎世界大会を経験して、自分
やチームが成長したと感じる
点はどこですか?

世界大会を経験し、自分の
限界は自分で決めなくていい
と学びました。仲間と本気で
向き合い、支え合えたことが、
チームとして一番の成長だっ
たと思います。

あの舞台での経験は、これ
からの挑戦を支える大きな力
になりました。

◎「この仲間で良かった」と
感じたエピソードがあれば教
えてください。

年齢も個性もさまざまなメ
ンバーでしたが、だからこそ
お互いに刺激を受けながら成
長できました。大変な練習も
支え合って乗り越えることが
でき、この仲間で本当に良か
ったと心から思っています。

◎応援してくれた地域の人や
家族へ、今伝えたいことは何
ですか?

世界大会への挑戦は、簡単
な道のりではありませんでし
た。それでも送り出してくれ
た家族や応援してくださった
地域の皆さんに、心から感謝
しています。

皆さんの応援があったから
こそ、あの舞台に立つことが
できました。本当にありがと
うございました。

◎これからの目標や将来、挑
戦してみたいことを教えてく
ださい。

仲間と共にもう一度、世界
で1位を取りにいきます。今
回の経験を自信に変えて、さ
らにレベルアップした姿で世
界に挑戦したいです。



5月、再び世界大会へ挑戦します!

石井登志郎西宮市長へ表敬訪問しました



※学年は取材時

浜脇中学校

第78回卒業証書授与式

浜脇中学校で第78回卒業証書授与式が、3月16日に厳かに挙行されました。

やわらかな春の気配が感じられる朝、体育館には卒業生、保護者、教職員が集い、静かな緊張感の中で式が始まりました。担任の先生から一人一人の名前が呼ばれると、卒業生は力強く返事をし、堂々とした足取りで壇上へ向かいました。佐々木理校長(当時)から卒業証書を受け取る姿は、3年間の努力と成長の跡がはつきりと表れていました。校長式辞では「自己を確立し、多様性を尊重しながらそれぞれの新しい道を歩んでください」と激励の言葉が贈られました。

在校生代表による送辞では、行事や部活動で導いてくれた先輩への感謝が述べられました。卒業生代表の答辞では、友人との思い出や家族、先生への感謝の気持ちが語られ、その言葉に多くの参列者が胸



中学生最後の合唱

を熱くしました。



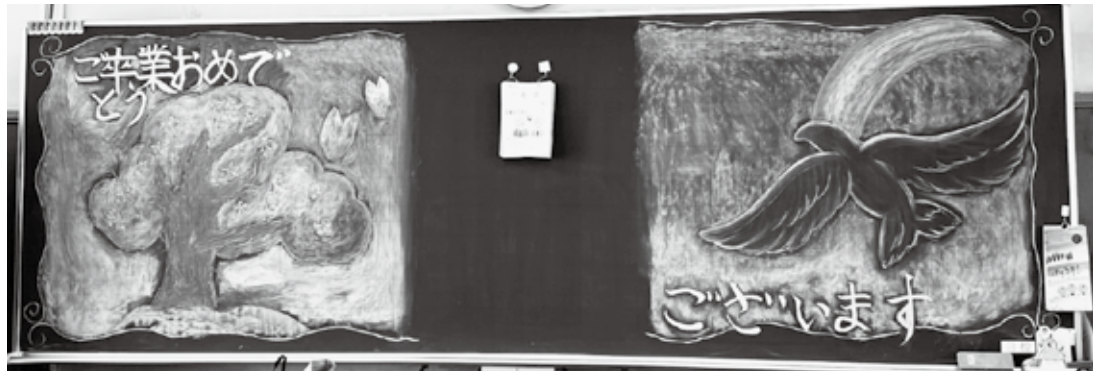
緊張の面持ちで入場

式の終盤には、卒業生による合唱が行われ、心を一つにした歌声が体育館いっぱいに響き渡りました。

別れの寂しさの中にも、未来への希望が感じられる温かな時間となった卒業式。浜脇中学校で培った友情と経験を胸に、卒業生の皆さんがそれぞれの道で大きく羽ばたいていくことを心より願っています。



PTAによる花束贈呈



先生たちの思いが伝わる黑板アート

